



★標準学力分析検査の分析の仕方②★

～志望校合格への道～

今回は、標準学力分析検査の結果の右側、出題内容ごとの成績について分析していく。中間期末対策ではなく、ほとんどの生徒が進路実現に向けて立ち足るであろう受験を意識した分析になるので間違えないようにしてもらいたい。

人によってテストの結果の分析の仕方、その後の家庭学習の仕方はそれぞれであろうが、ある程度効果的な学習の仕方を知っておいたうえで、オリジナルの学習の仕方をしたほうが学力向上につながるであろう。そのために、まず、志望校合格への目標点（およそでよい）をはっきりさせよう。目標点が400点だったとすると、1教科平均80点とることとなる。80点は大変だと思えるだろうが、見方を変えれば、20点は間違えてもよいわけである。テストで満点をとることが目的であれば、そのような考え方はしないが、志望校合格を目的とするなら、満点は必要ない。自分の決めた点数にいかにか近づくか考えることが大切である。次に、社会の教科を使って具体的に説明していこう。

3年テスト社会		配点	得点	全県平均点	あなたの得点率 (%)	領域アドバイス
1	地理 (世界)	24	22	10.7	92	地理 (世界) の学習～
2	地理 (日本)	26	16	13.7	61	地理 (日本) の学習～
3	歴史 (～中世)	24	22	9.6	92	中世までの歴史が、～
4	歴史 (近世～江戸時代末)	26	10	9.9	38	近世～江戸時代末の～

上の表は、今回の実力テストを受けた橋山君の社会の成績である。橋山君は、社会で70点をとったが（全県平均点よりは上!!）、目標の80点には届かなかった。ここで橋山君が残り10点をあげるために見るべきところは、【あなたの得点率】のところである。橋山君は1地理 (世界) 3歴史 (～中世) では92%とれているので、これからどんなに勉強しても、1地理2点、3歴史2点、計4点しかあげることができない。それに対して、2地理 (日本) では61%、4歴史 (近世～江戸時代末) では38%しか取れていないので、頑張ったら2地理10点、4歴史16点、計26点あげることができる。このように、得点率が低いところ（50%以下を目安とするとよい）は、自分の苦手分野になるので、領域アドバイスをしっかりと読み、今後の学習内容の変更につなげてみよう。1教科10点あげることができたなら、5教科で50点の成績UPにつながる。大切な自分の人生だからこそ、1つ1つのことを丁寧に、夢実現のために進んでいってほしいと思う。

西日本新聞記事より



教えてくれた勝利より大切
（篠栗町・69才）

男子ゴルフの最高峰マスターズでついに松山英樹プロが悲願の優勝を果たした。体と心を鍛え、すさまじい練習でつかみ取った栄光だろう。しかし、彼は勝った瞬間、ガッツポーズなどしなかった。

早藤将太キャディーはコースを振り返り、帽子を取って一礼した。なぜ誰もいないのに礼をするのかと聞いた人がいたそうだ。

一流の日本人選手に共通するのは、その場に対する感謝、全力で戦ってくれた相手への尊敬、道具へのいたわり。それらが礼となる。その態度がネット上で世界中から称賛された。

一方、残念なことにクラブを壊しボールを池に投げ入れた他国の選手がいた。美しいコースを維持している方々の目にはどう映っただろう。勝利することは大切だけど、人としてそれ以上に大切なものがあることを今の子供たちに見せてくれた素晴らしい試合だった。

人として、勝つこと以上に大切なことって何だろう？